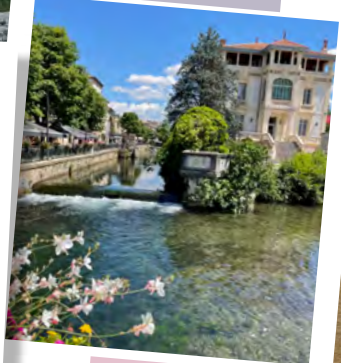


Dossier de Presse

プレス資料

リュベロン・クール・ド・プロヴァンス観光局

リル・シュル・ラ・ソルグ観光局



ISLE S/LA SORGUE
TOURISME

リル・シュル・ラ・ソルグ観光局



DESTINATION
LUBERON
CŒUR DE PROVENCE

リュベロン・クール・ド・プロヴァンス観光局

はじめに

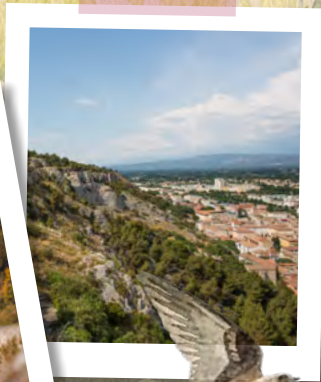
唯一無二の
デスティネーションとして
人びとを魅了してやまない
リュベロン、
ヴォークリューズ山脈、
ヘイ・デ・ソルク周辺地域



四季に沿って

様々な旅の例を紹介します。

あなた好みの旅がきっと見つかるはず！



「リュベロン・クール・ド・プロヴァンス (Luberon Coeur de Provence)」はリュベロン山塊 (massifs du Luberon) とヴォークリューズ山脈 (Monts de Vaucluse) の懷に位置する、プロヴァンスの真ん中に位置する地域であり、ゴルド(Gordes)とルールマラン(Lourmarin)という「フランスの美しい村々」に選ばれた2つの村をはじめ、高所に築かれた無数の鷹の巣村や、ブドウ、白樺、オリーブの樹々に囲まれた風光明媚な村々、カヴァイヨン (Cavaillon) の街など魅力に事欠きません。

すぐかたわらのリル・シュル・ラ・ソルグ (L'Isle sur la Sorgue) では、プロヴァンス地方の豊かな暮らしに触れることができます。果樹園やブドウ畑のあいだを徒歩や自転車で散策し、骨董や古道具、目にも楽しい色とりどりの品々が並ぶ市場を巡り、歴史的な建造物や大自然を訪ね、プロヴァンス地方とそこに暮らす人びとの個性を育んできた伝統や培われてきた知恵と技術との出会いがあなたを待っています。



観光 デスティネーション

リュベロン、 ヴォークリューズ山脈、 ペイ・デ・ソルグの位置関係

マルセイユ・プロヴァンス空港 (aéroport de Marseille Provence) から1時間、TGVのアヴィニオン(Avignon) 駅とエクス・アン・プロヴァンス(Aix en Provence) 駅から45分。リュベロン・クール・ド・プロヴァンス地域はその西をA7 高速道路、南をペルテュイ(Pertuis) 付近でA51 高速道路と接し、リュベロン地方自然公園(Parc Naturel Régional du Luberon) に位置しています。アヴィニオン方面に向かってすぐかたわらにはリル・シュル・ラ・ソルグの街があるペイ・デ・ソルグの平野が広がります。極上の旅を楽しむデスティネーションへようこそ。サイクリングにファーマーズマーケット、樹齢100年の木の下で友人たちと寛ぐ村の広場でのアペリティフ、星空の下で聴く野外コンサート、息を呑むような風景に浸るハイキング……。日常のせわしなさを忘れ、ここでしか体験できない魔法の時間を存分に味わってください。

お待ちしております！



マルセイユ空港から
1時間



アヴィニオン TGV 駅と
エクス・アン・プロヴァンス
TGV 駅から 45 分



A7 / A51 高速道路
 > アヴィニオン(Avignon):35分
 > マルセイユ(Marseille):1時間
 > ニース(Nice):2時間30分





目次



8

春

新たな息吹に
包まれて



12

夏

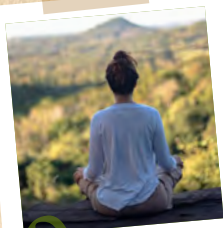
祝祭の彩り



16

秋

小春日和



20

冬

静けさと発見



24

旅先での
出会い

インタビュー先を
お探しなら...



26

旅のアイデア...

これぞ リュベロン…



あなたの好奇心を刺激し、旅の仲間となってくれる人の声に耳を傾けながら、ゆったりとリュベロンの四季を感じてください。

心の赴くままに、彼らの旅の経験、体験談をひもときます。ページを繰れば、旅人たちによる、これぞリュベロンと言うにふさわしい、魅惑的で素直な声がいきいきと綴られています。



春

新たな息吹に 包まれて

春は魅惑の季節。リュベロンの山すそは温暖で、一年中太陽が輝いています。日に日に暖かさを増し、昼の時間が長くなっていく春は、新たな息吹に包まれる季節です。

春という季節にこそぜひ：

- 冬を乗り切った体をいたわり、エネルギーをチャージ。
- 初物のイチゴとアスパラガスを求めて市場へ。
- 徒歩で、あるいは自転車で散策に出かけよう。
- 4月、5月は、小さな通りが花々で彩られる鷹の巣村へ。



セリーヌ、マルク、ミア、ジョアンの場合

家族で遊ぶヴァカンス

復活祭の春休みに1週間のキャンプをしました。



● 彼らのお気に入り
ロバと一緒に散策

● 旅のお土産
地元パティシエの
手作り菓子とジャム



シャルルとハッピーの場合

ドッグフレンドリーな休日

リュベロンを駆け巡る3日間の大冒険



● 彼らのお気に入り
春の風景に包まれた
朝のサイクリング

● 旅のお土産
ラベンダーの
エッセンシャルオイル

大自然を満喫

心の赴くままに歩いて、走って、
ペダルを漕いで！

リュベロン地方自然公園には、神話の世界から抜け出たような手付かずのままの景色が残っています。静かで心洗われるような小道や場所、鼻腔をくすぐる甘い香り、ラベンダーの青い色、岩壁や家屋や崖などいところに見られる石の白い色……。自然公園の端にはソルグ川 (La Sorgue) とデュランス川 (La Durance) が流れています。

人口の少ない農村地域であり、その生活の質の高さ、豊かな遺産、優れた景観によって名高いリュベロン。面積 1,850 平方キロメートル、標高 70 ~ 1,125 メートル (グラン・リュベロン (Grand Luberon) にあるムール・ネーグ (Mourre Nègre) の頂上) を誇るリュベロン地方自然公園は、プロヴァンス・アルプ・コートダジュール (Provence-Alpes-Côte d'Azur) 地方に 7 つある自然公園の 1 つです。

自然公園内では、自然と歴史の両方に触れることができます。縦横無尽に張り巡らされた自然遊歩道をたどって散策に繰り出しましょう。家族や友人と一緒に歩きたい人向け、スポーツをする人向けなど、さまざまなルートがありいずれも標識が設けられています。北から南へ、東から西へ、2 日間かけて横断トレッキングに挑戦することもできます。

自然遊歩道 (GR) の 6 番、91 番、97 番ルート、あるいはヴォークリューズ山自然遊歩道 (GR DE PAYS DES MONTS DE VAUCLUSE)、ペストの道 (SENTIER DE LA PESTE) を歩き、リュベロンの景色を堪能してください。ローマ街道からサンティアゴ・デ・コンポステラ (SAINT-JACQUES DE COMPOSTELLE) を目指す巡礼者には、平原を進むルートがあります。



魅惑のスポット フォンテーヌ・ド・ ヴォークリューズへ！

フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズとは「ヴォークリューズの泉」の意味で、訪れる人の心を惹きつけてやまない谷間の魅力的な村の名前でもあります。近年の考古学的な発見により、この村の泉が古代のひとびとの崇拝の対象であったことがわかりました。まるで絵葉書から抜け出したように美しい村から数百メートルのところには、切り立った高い崖の足もとをヴォークリューズ地方で最も美しいソルグ川が流れています。

サイクリストたちの楽園

サイクリングを楽しむ旅にうってつけの
デスティネーションへようこそ。サイク
リンルート、あるいは標識が設けら
れた小さな道路沿いのルートを走り、
ガリーグ (garrigue) と呼ばれる石
灰質の大地、ブドウ畑、杉の森、断
崖の小さな村々を訪ねましょう！



リュベロン・ア・ヴェロ

「リュベロン・ア・ヴェロ (Luberon à Vélo)」
は、63km の範囲に張り巡らされた全
長 236m の自転車ルート。歴史ある小
さな村々を巡ることができます。

👉 www.veloloisirprovence.com



リル・シュル・ラ・ソルグ周辺の サイクリングコース

「泉からコンタヴネサンのヴェネツィアまで
(De la Source à la Venise Comtadine)」
と名付けられたサイクインルートは、水
辺を走る 20km のシンプルな周遊コース
です。コンタヴネサンのヴェネツィアこと
リル・シュル・ラ・ソルグからソマヌ・ド・
ヴォークリューズ (Saumane-de-Vaucluse)
の鷹の巣村を経てフォンテーヌ・ド・ヴォー
クリューズまで、プロヴァンスが誇るソル
グ川が生んだ景観を楽しみながらサイクリ
ングはいかがでしょう。途中、「カラヴォ
ン自転車道 (Véloroute du Calavon)」に
合流することもできます。

ヴェロルート・デュ・ カラヴォン

家族連れにおすすめのサイクリン
グルート。ロビオン (Robion) から
ボーメット (Beaumettes) までの
8km は、かつて鉄道が通ってい
たところに整備されています。ア
プト方面までつづく全長 36km
のルートは、自転車とローラーブ
レード専用で安全に走行するこ
とができます。

マウンテンバイク

マウンテンバイクを楽しむならば、ゴ
ルドの「ヴォークリューズ横断 (Grande
Traversée du Vaucluse)」ルート、リュ
ベロンの複数の村を結ぶ「リュベロン
横断 (Grande Traversée du Luberon)」
ルートがあります。経験者向けのハイ
レベルな行程です。

リュベロンを散策する

リュベロン地方自然公園では、徒歩で、乗馬で、ロバの背に乗ってなど、さまざまな散策を体験することができます。ゆつくりと時間をかけて、リュベロンの魅力を発見してください。

自分のペースで散策を楽しんでいただくため、GRやGR de Paysといったさまざまな自然遊歩道が整備されています。縦横無尽に伸びるルートは、黄色で示されたものが短い行程、赤と白で示されたものが長い行程となっています。山すそをのんびりと歩くシンプルなものから、スポーツとして挑む長距離トレッキングまで、自分のペースやレベル、その日の暑さなどに合わせて最適なルートをお選びください。

自然遊歩道あれこれ

GR DE PAYS は、ペストの壁 (Mur de la Peste) 沿いや紡績女工の道 (sentier des fileuses) など、リュベロンの歴史が刻まれた場所をハイキングすることができる自然遊歩道です。

ゴールド周辺には、レジスタンス活動の足跡をたどる2つの自然遊歩道が新たに設けられました。1つはゴールドからセナンコルの谷 (vallée de la Sénancole) を経てセナンク修道院 (Abbaye de Sénanque) へ至るルート、もう1つは、ゴールドとジュカ (Joucas) の間にあるヴェロンクル峡谷 (Gorges de Véroncle) とその周辺を巡るルートです。

また、カラヴァン渓谷 (VALLÉE DU CALAVON) には、カヴァイオンを横切り、ヴェロルート・デュ・カラヴァンに沿って進むサンティアゴ・デ・コンポステラ巡礼者向けのGR635Dがあります。古代ローマの時代に建設されたドミティア街道 (La Via Domitia) をたどるルートです。

シュマン・デ・パルク

(プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方の自然公園が地域の観光局と連携して提供する遊歩道マップ)

シュマン・デ・パルク (Chemin des Parcs) のwebサイト www.cheminsdesparcs.fr でルートを選択し、印刷するか、GPX または KML ファイルをダウンロードしてください。出発前に3D表示設定をしておけば、行程をつぶさに把握しておくことができます。

リュベロン・クール・ド・プロヴァンス地域の散策では、リュベロン山塊、ヴォークリューズ山脈、アルピユ山脈 (ALPILLES)、ヴァントゥー山といった南仏を代表する峰々を一望することができます。ブドウ畑、森、セイヨウヒイラギガシの樹々、オリーブ農園はもちろんのこと、鳥たちが集う石灰岩の崖、あちこちに聳える青灰色の百年杉などがあなたの目を楽しませてくれることでしょう。





夏 祝祭の彩り

夏が来ると、そこかしこが大自然のもたらす明るい色に染まります。ラベンダー畑、陽の光をたっぷり浴びた果物や野菜をつかった料理、村のシルエットを浮かび上がらせる宵の光…。

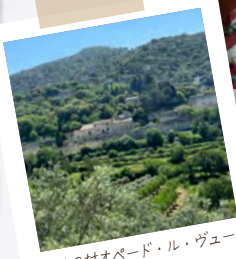
この美しい季節にふさわしいもの：

- クステレ（Coustellet）のラベンダー博物館（Musée de la Lavande）を訪れ、「五感」のワークショップに参加してみる。
- レストラン、あるいはピクニックで郷土料理を味わう。
- 野外劇場で楽しむ星空の下のコンスर्टへ。
- ルールマラン城を訪ねる。



リザ、メラニー、ポール、レオ、マエの場合

友だちと過ごすヴァカンス
目いっぱい遊んで
毎晩はじけた5日間！



中世の村オペード・ル・ヴェュー
Oppède-le-Vieux



● **彼らのお気に入り**
その場でひらめいて、
ソルグ川のほとりでピクニック

● **旅のお土産**
太陽の光をたっぷり浴びた色とりどりのプロヴァンスの美味しいもの、皆へのお土産にはタプナード、オリーブオイルなどの特産品を

スリルはいかが？

見渡す限りの景色を、自転車で、あるいは徒歩で一気に駆け抜けてみたくありませんか。難易度の高い行程や平坦な行程、さまざまなルートがあります。マウンテンバイクでオフロードを走行したら、カヌーで川下り、プロヴァンスで最も美しい山々を遠くに望むヴィア・フェラータに挑むのはいかがでしょう。自ら実践し発見するアクティビティは、何ものにも変え難いはず！



カヴァイオンでヴィア・フェラータ

2013年に整備されたヴィア・フェラータは、カヴァイオンの市街地から徒歩で直接アクセスでき、2つのルートに分かれています。「ヴィア・ナチュラ (Via Natura)」は身長130cm以上、めまいのない方が対象。より難易度の高い「ヴィア・スーテラ (Via Souterrat)」は、洞窟や断崖を他にはない方法で横断するスリル満点のルートです。



空の高みへ

デュランス (Durance) とリュベロンのぼさまでグライダーに乗って鳥のように空を飛び回れば…きっと忘れられない思い出になるはず。熱気球も選べます。

2CV でちょっぴりレトロ

アイコニックなシトロエン 2CV で巡るリュベロン。カップルや家族で、友人同士で、忘れられないひとときをお楽しみください。最高の気分を味わいたいあなたにおすすめのアクティビティです。



おいしいものがいっぱい！

愛情を込めてつくられた良質な特産品はいかがしょう。私たちの生産者はみな情熱的でフレンドリー。観光客を受け入れている農園もあります。プロヴァンスの名産品、みずみずしく滋味深い料理をつくるために必要なものは市場へどうぞ。豊富な果物に野菜、オイル、蜂蜜、花、ワイン（赤白ロゼのすべて！）と全部が揃います。味わい、楽しみ、美しいテーブルを整え、気取らない素敵な時間を胸に刻んでください。シェフが腕を振るう店を巡り、これまでに味わったことのない色とりどりの美食を発見するのもよし。大胆な発想で食材を組み合わせた味わい深い一皿を召し上がれ！



プロヴァンスのマルシェ

マルシェ（市場）ではプロヴァンスの太陽に育まれた風味豊かな果物や野菜があなたを待っています。夜のファーマーズ マーケット、日曜日の朝と水曜日の夜のクステレのマルシェ、木曜日と日曜日のリル・シュル・ラ・ソルグのマルシェ、そして特定の農家やレストランが行うマルシェも…。屋台には最初のお客がやってくる前に、その日の朝、あるいは前日に収穫された果物や野菜がずらりと並べられます。果物と野菜はいずれも濃厚な旨味があり、桃のピロードのような食感、さくらんぼの歯ごたえ、いちごの甘酸っぱさ…どれをとっても非の打ち所がありません。ほとんどのファーマーズ マーケットは、4月から12月末まで行われます。

生産者との親密なつながり

リュベロンとペイ・デ・ソルグでは地産地消の取り組みがあちこちで見られます。ファーマーズマーケットや農家の直販所などは、ほぼ一年中利用することができます。アスパラガスとイチゴは4月から、かぼちゃは9月または10月から購入できます。12月にはトマト…は見つかりませんが、じゃがいも、ねぎ、りんごは手に入ります。大自然のサイクルが旬を教えてくれているのです！

太陽の恵みの料理

プロヴァンスの畑で育った野菜たちが、おいしい料理に生まれ変わるのを待っています。みずみずしいトマト、柔らかなズッキーニ、繊細な茄子、ラニユ（Lagnes）産の四角いピーマンの相性は最高。ラタトゥイユ、スライスした野菜を重ね焼きしたティアン（tian）、薄切りの仔牛肉で具材を包んだプロヴァンス風ボーピエット（paupiettes de veau à la provençale）など、いずれも格別のおいしさです。そして、これらの料理の仕上げに活躍するのがプロヴァンスのオリーブオイルなのです。

ミシュラン1つ星獲得のレストラン

- レ・ボリー LES BORIES
於ゴールド
- ル・シャン・デ・リュヌ
LE CHAMP DES LUNES
於ロリ（Lauri）
- ル・ヴィヴィエ LE VIVIER
於イル・シュル・ラ・ソルグ
- ラ・フェニエール
LA FENIÈRE
於カドゥネ（Cadenet）



旅先での出会い

ネイチャーガイド

ネイチャーガイドにとって自然公園は遊び場のようなもの。ガイドの案内で、リュベロンの豊かな動植物を発見してください。

シェフ

マカロン、タブナード、メロンのグラニテ、ラタトゥイユ、仔羊のパイ包み焼き、アスパラガスのアスピック…。レストランの厨房でシェフと一緒に料理を作り、唯一無二のお土産とレシピを持ち帰る…なんて、魅力的でしょう？

オリーブ農家

オリーブ農園を散策。オリーブの実と誰もが知るオリーブオイルの秘密を探りに行きましょう。

職人

職人と語り合う機会があれば、リュベロンの地がいかにもその手仕事にインスピレーションを与えてくれるのかを教えてください。

レクチャーガイド

プロヴァンスのなかでもリュベロンはとりわけ豊かで刺激的で魅力にあふれた歴史を有しています。この地をこよなく愛するガイドが、歴史の遺産であるここだけの物語を聞かせてくれます。



秋 小春日和

夏の熱狂が終わるとブドウやオリーブを収穫する季節が到来し、ひとびとが土地へ戻っていきます。シェフたちが嬉々として秋の料理の魅力を再発見する季節です。

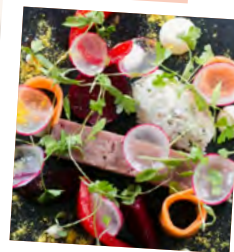
静かな村を歩き、店のウィンドウを眺め、美しい夕陽に酔いしれるときを待ちわびることのなんと甘美なことでしょう。鷹の巣村や美術館など、主要なスポットを巡り、小休止には紅茶やコーヒーでほっと一息つく心地よいひととき。風景やサイクリングロードを縁取るように広がるブドウ畑が鮮やかな色彩が見せてくれます。



シルヴィ、ジェロームの場合

王道をゆく静かな休暇

9月の終わりにから10月初めにかけて4日間の休暇をとり、居心地のよいホテルで平日を過ごしました。



● 二人のお気に入り

星付きシェフの店でディナー

● 旅のお土産

帰ってから料理に使うオリーブオイルとトリュフ



好奇心を満たす

リュベロンの村といえば、鷹の巣村のように高所に拓かれているが、リュベロン山塊やヴォークリューズ山脈に寄り添うように築かれているのが特徴。溪谷を見下ろすことができる村、オリーブやブドウの樹、ケルメスオークの樹に囲まれた村。いずれの見晴らしも個性的で、リュベロン山塊、ヴァントゥー山、モンミライユ山脈(dentelles de Montmirail)、アルピーユ山脈、ときにはヴィクトワール山など、南仏の有名な山々のパノラマを楽しむことができます。

村はそれぞれ、歴史を担う要所や特徴的な建築物を村独自の規定で保護しています。村の中心部には瀟洒な家々が、のどかな地区にはマス(Mas)やバステード(Bastide)と呼ばれる伝統的な別荘や農家が並び、石畳の道や花畑、壮大な遺跡や高台の教会、運河や古い井戸、方立仕切りの窓と古い門扉とともに景色を織りなしています。



歴史的建造物に認定されている城

- ルールマラン城
年中無休
- ゴルド城
夏季のみ営業



絶対見逃せない美術館・博物館

- ラベンダー博物館
シャトー・デュ・ボワ (Château du Bois)
▼ www.museedelalavande.com
- フィラヴァンチュール (La Filaventure)
(Brun de Vian Tiran 社の工場)
▼ www.lafilaventure.fr
- ピエール・サリンジャー博物館
(Musée Pierre Salinger)
元米国上院議員ピエール・サリンジャーの終の住処に設けられた博物館。華麗な人生とキャリアをたどる展示。予約制、年中無休。
- カンプルドン美術館
(Musée Campredon)
1746年に建てた領主の邸宅がアートセンターとして生まれ変わりました。一年を通してさまざまな展覧会が催されています。
- オリーブオイル博物館
地中海地域にいしえから伝わるオリーブオイルの全てを知ることができます。
▼ www.royere.com

オリーブの果実とオイル

地中海地域の代表的な特産物であるオリーブオイルとその果実は、一年を通して欠かせないもの。オリーブ農園の散策、テイasting、搾油所の見学を通して、1000年の歴史を持つオリーブオイルの秘密を発見します。搾油所を訪ね、搾りたてのオイルの香りを嗅ぎ、オリーブの樹々の間を歩き、タプナード（オリーブのピューレにニンニク、アンチョビオイル、ケーパーを混ぜたもの）を味わいましょう。

搾油

オリーブの果実は11月から12月にかけて収穫され、搾ってオリーブオイルとして、あるいは食用の果実として利用されます。1リットルのオイルに必要な果実の量は5～8kg。11月初旬の搾油で得られるオイルは緑の果実の風味（**LE FRUITÉ VERT**）です。シーズンが終わりに近づくと、赤や紫に熟した果実の風味（**MÛR**）、そして黒い果実の風味（**NOIR**）へと移り変わります。この地域で最も多く栽培されている「アグランドー（Aglandau）」という品種のオリーブは、やや甘さを残しつつも、燃えるような力強い香りを持つオイルを生み出します。



アグリツーリズムとオリーブオイル

プロヴァンスでは数千年前からオリーブの栽培が行われてきました。ここではこの小さな緑色の真珠の栽培から健康効果、歴史、味、文化などを知ることができます。オリーブオイルがどのようにしてできるのかを間近でご覧ください。レ・カリス・ファーム（Les Callis Farm）、マス・オノラ（Mas Honorat）のオリーブ農園によこそ。



タプナードやクラッシュオリーブなど、アペリティフでお馴染みのオリーブのおつまみ。ニヨン（Nyons）産のピジョリーヌ（**PICHOLINE**）、タンシュ（**TANCHE**）、サロン・ドゥ・プロヴァンス（Salon de Provence）産のサロナンク（**SALONENQUE**）、ボー＝ドゥ＝プロヴァンス（Baux-de-Provence）産のグロサーヌ（**GROSSANE**）など、さまざまな品種が用いられています。

川とアンティーク

リル・シュル・ラ・ソルグ



ソルグ川

ソルグ川に育まれてきたこの街はかつての漁村であり、「**コンタヴェネサンのヴェニス**」の通称で呼ばれています。1467年8月8日以降、ソルグ川で洗濯することが禁止され、当時の通貨で25スーの罰金を科せられたといわれます。ソルグ川は、街の歴史に欠かせない存在でありつづけました。ソルグ川のほとりとその澄んだ水こそが、この町の遺産です。かつての村は、現在のヴィルヴィエイユ (Villeveuille: 旧市街) 界隈、当時サン・ローラン (Saint Laurent) と呼ばれた地区で発展し、ソルグ川は紡績工場や漁業、工業などを通じて街の繁栄に寄与してきました。



アンティーク

リル・シュル・ラ・ソルグは古道具や骨董品の愛好家にとっての天国であり、その市場は屈指の規模を誇ります。1978年に最初のアンティーク村が誕生して以来、街はヨーロッパ中にその名を轟かせてきました。現在、300軒以上の骨董専門店が金曜から月曜まで営業しており、家具、絵画、美術品、宝石、書籍、レコード、アイアン、その他にも魅力的なオブジェが多数見つかる世界有数のアンティーク村となっています。復活祭と昇天祭の時期には、毎年500以上の出展者が集まる国際アンティーク見本市を開催。プロのディーラー、蒐集家、アマチュアを問わず、誰もが楽しめる機会となっています。



冬

静けさと発見

陽光が美しい冬をもたらし、リュベロンの澄んだ空気を際立たせるように気温が落ちていきます。

この時期のマルシェの主役はトリュフです。レストランでは、シェフが搾りたてのオリーブオイルを使って腕を振るい、さまざまな料理を供します。リュベロンの冬はとても静かです。鷹の巣村を散策したり、カフェで一服をしたり、温かく快適な宿泊先でのんびり英気を養うには理想的な季節です。年中無休の商店や展覧会なども楽しんでお過ごしください。



ミリアムの場合

自分自身をいたわる休日
秋休みにのんびりと週末を過ごしました。



- 彼女のお気に入り
ヨガ講習
- 旅のお土産：
自然派コスメ



ジュリアとマキシムの
場合

仲睦まじい休日
都会の喧騒を忘れる静かな3日間



- 彼女のお気に入り
ルールマランの
アートギャラリー
- 旅のお土産：
クラフトビール

プロヴァンスのクリスマス

リュベロンの町や村が毎年特別なムードに包まれます。クリスマスの祝祭を盛り上げるのは、プロヴァンスの民族舞踊ファランドール、サントン市、イルミネーション、クリスマスマーケット、聖歌隊…。翌年の繁栄を占うために小麦をまく象徴的な伝統行事、聖バルブの日 (la SAINTE-BARBE : 12 月 4 日) とともにクリスマスの時期が始まります。

クリスマスマーケット

12 月には、各地でクリスマスマーケットが開かれます。多くの町や村が美しく飾り付けられ、クリスマスの気分がぐっと盛り上がります。暖かい飲み物とお菓子を楽しみつつ、クリスマスの品々のショッピングはいかがでしょう。素敵なクリスマスプレゼントや、クリスマスのご馳走に地元の特産品を探すならば、クリスマスマーケットがおすすめです。

プロヴァンスのサントン

12 月に入るとすぐ、イエス・キリストの降誕の場面を模した飾りつけ「クレーシュ (crèche)」を整えます。伝統の飾りつけの重要なポイントは、井戸や粉挽小屋の脇を流れる川、共同のパン焼き窯、松の木など、プロヴァンスの昔ながらの生活を再現することです。クレーシュにはサントン (プロヴァンス語で小さな聖人を意味する Santoun に由来) と呼ばれる人形が用いられ、職人が粘土で手づくりしています。

ここに注目

オテル・ダガーのクレーシュ

毎年クリスマスの時期になると、オテル・ダガー (Hôtel d' Agar) では、18 世紀から 19 世紀のプロヴァンスとナポリのクレーシュの素晴らしいコレクションを披露します。蝋や張り子でつくられ、時代ごとの衣装を身にまとった 200 以上のプロヴァンスのクレーシュ、テラコッタでつくられた 100 のナポリのクレーシュ、その他、木でつくられたジェノヴァのクレーシュが数点、屋内の見学ルートに展示されます。

13 種のデザート

13 という数字が宗教的な象徴性を持つデザート。これは最後の晩餐でイエス・キリストが 12 人の使徒と一緒にテーブルを囲んだときの会食者の数に一致します。13 種のデザートは、伝統的に 3 枚の白いテーブルクロスで覆われたテーブルの上で供されます。クリスマスイブの食事の最後に出され、その後 3 日間にわたって食卓に置かれていなくてはなりません。会食の招待者はデザートを全種味わい、ホストに礼儀正しさを示すのが慣わしです。

(13 種のデザート : クルミまたはヘーゼルナッツ、ドライイチジク、サルタナレーズン、アーモンド、カボチャの種、白いヌガー、デーツ、黒いヌガー、赤いヌガー、カリソン・デクス、オレンジまたはクミかん、メロン、異国の果物)。

静かに自分と向き合う

リラックスするのはなんと素敵なことでしょう。静けさの中で自分自身をいたわり、大自然を望む明るい部屋から朝の鳥の声に耳を傾けてください。マッサージやスパ、屋外でのヨガのクラスが、この体験をより確かなものしてくれるはずです。

穏やかな静寂にゆったり身を任せ、英気を養い、スパとその贅沢なサービスを楽しみましょう。リュベロンのあるあちこちで、スパ、マッサージ、リラクゼーションエリア、ヨガクラスを体験できます。



素敵なカフェ

プロヴァンスらしい時間の流れに身を任せるならば、ぜひリュベロンに点在する小さな村々においでください。散策に華やきを添えてくれる可愛いショップ、カフェテラスやティールームなどもあります。マルシェの行われる日に訪ねるのはもちろん、平日の何曜日に村を訪ねても存分にお楽しみいただけることでしょう。どうぞ お見逃しなく。

コンテンポラリーなデザイン

プロヴァンスには、コンテンポラリーな建築、装飾を取り入れている宿泊施設もあります。シックで現代的なムードに包まれてリラックスしつつ、プロヴァンスにどっぷり浸かる旅はいかがでしょう。



トリュフ

ヴォークリューズの 黒いダイヤとは何か？

ヴォークリューズのトリュフ生産者の会は、トリュフの品質、透明性、尊重に関する取り組みに尽力することを旨とし、最高峰のトリュフを推進する協会にコミットしています。最高峰の黒トリュフこそ、洗練されたアロマを持つチュベル・メラノスポルム (*tuber melanosporum*) なのです。

ヴォークリューズ、 黒トリュフの大地

トリュフ栽培の創始の地であるヴォークリューズは、フランスのトリュフ生産第1位を誇っています。地中海性気候と石灰岩の土壌を持つヴォークリューズは、チュベル・メラノスポルムを育む最高の条件を備えています。黒トリュフを「ペリゴール・トリュフ」と呼ぶこともあります。トリュフ栽培が始まったのは紛れもなくここヴォークリューズなのです。

🐾 <https://diamantnoirvaucuse.fr/>

3つの誓い：

新鮮さ

新鮮であるほどトリュフは香りが強いもの。それこそが、収穫日を明らかにし、それから1週間未満のトリュフのみを販売することを約束する理由です。

成熟

黒トリュフはもともと黒くはありません。白から灰色へ、そして濃い灰色へと変化し、しっかりと熟して美しい紫がかった黒へと変化します。香りの強さは成熟の度合いによって異なります。そのため、私たちは真の黒トリュフのみを提供し、トリュフの断面をお見せしているのです。

品質

「ヴォークリューズの黒いダイヤ」ブランドの名の下、私たちは、テロワールが生んだ香り豊かな最高のトリュフのみを提供することを約束します。



ここに注目

ラグビーワールドカップ 2023

ラグビーワールドカップ 2023 フランス大会がいよいよ開幕。9月8日から10月28日にかけて、9都市 9会場で20の代表チームが試合を行います。男子チームにとっては10回目、フランスで開催されるのは2回目のラグビーワールドカップです。

マニフェスト

ラグビーワールドカップ・フランス2023は4つの主要な柱に焦点を当て、主要なラグビーイベントとしての社会的環境的責任、インクルージョン、レガシーにおける新しい基準を設定することを目指します。

- サステナビリティと循環経済を目指した活動
- 教育、トレーニング、雇用の支援
- 環境の尊重と保護
- インクルージョンと分かち合いの保証

これらは、私たちのデスティネーションで見出される本質的な価値観に一致します。大会の4分の1以上の試合は、リュベロンから車で1時間弱のプロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方で開催されます。どうぞこの機会に、南仏の宝石と呼ばれるリュベロンへ足をお運びください。





リュベロンでひと休み

リュベロンは、卓越したテロワール、豊かな歴史遺産、壮大な自然など、いくつもの側面を有しています。スポーツをする方、グルメな方、歴史に興味がある方、どなたにも一年にわたってお楽しみいただける旅の目的地です。ユネスコの「世界ジオパーク」と「生物保護区」に認定されていることでも知られる自然公園のさまざまなアクティビティにきっとご満足いただけることでしょう。

“スプリングボックス”

スプリングボックスこと南アフリカの代表選手は、トゥーロンにベースキャンプを置きマルセイユで2回プレーする予定です（車で1時間弱）。スコットランドの代表選手のベースキャンプはニース。ラグビーワールドカップ2023の2試合の間に散策を楽しむのにリュベロンは最適な地理的条件を備えているのです。

ここに注目 宿泊施設

手付かずの大自然に囲まれた
上質な宿泊施設。

ブドウ園のヴィラやコテージのレンタル、ルレ・エ・シャトーのホテルなど、リュベロンには、素晴らしい地域に魅力的な宿泊施設が多数あり、質の高いサービスを提供しています。

旅のアイデア

- リュベロンの最も美しい村々を巡るガイド付きツアー
- リュベロン地域圏自然公園の散策とハイキング
- テーマ別プラン（ワイン、スポーツ、文化…）。
- さまざまなアクティビティ、ご要望に応じたプラン



ウェルネス&ネイチャー

ガイドの案内でリュベロンの動植物を発見する一日。レベルによってルートが選択できるので、どなたにもご参加いただけます。乾いた大地、緑に覆われた大地、ガリーグ、ステップ、森林など、リュベロンの表情豊かな風景をお楽しみください。昼食は、地元シェフによるヘルシーのピクニック。快いひとときが元気を回復してくれます。一日を締めくくるヨガクラスでくつろぎと元気をチャージ。穏やかな心で新たな冒険に旅立ちましょう。

91€ / 人

青き黄金の大地への旅

午前中、ルールマランから数キロ離れた農場を訪問します。「青き黄金」と呼ばれるラベンダーをはじめとする、プロヴァンスを象徴する植物をご覧ください。原産地、用途、アロマセラピーや料理など、あらゆることを知ることができます。昼食は農場でお召し上がりください。午後は、蒸留方法の今昔などさまざまな秘密に迫ります。いにしえから愛されるエッセンシャルオイルのテイastingもお楽しみください。

75€ / 人

乂 乇

DESTINATION LUBERON CŒUR DE PROVENCE

リュベロン・クール・ド・プロヴァンス観光局

Bianca OGEL

プロモーション&広報責任者

✉ incoming@luberoncoeurdeprovence.com

+33 (0)6 08 94 83 01

Franck DELAHAYE ディレクター

✉ f.delahaye@luberoncoeurdeprovence.com

CAVAILLON カヴァイヨン観光局

Place François Tourel

+33 (0)4 90 71 32 01

GORGES ゴルド観光局

Le Château

+33 (0)4 90 72 02 75

LOURMARIN ルールマラン観光局

Place Henri Barthélémy

+33 (0)4 90 68 10 77

インバウンドサービス

地元業者と提携して、グループや個人向けのご滞在をアレンジ。

さまざまなご要望にお応えします。

登録番号 : IM084170001

✉ www.luberon tourism.com

✉ www.luberoncoeurdeprovence.com



ISLE SUR LA SORGUE TOURISME

リル・シュル・ラ・ソルグ観光局

Xavier FEUILLANT ディレクター

✉ xfeuillant@islesurlasorguetourisme.com

+33 (0)6 08 94 83 01

プレスお問い合わせ先

Lucie LAQUET

広報・マーケティング・イベント担当

✉ lilaquet@islesurlasorguetourisme.com

+33(0)6 63 59 19 03

ISLE SUR LA SORGUE

リル・シュル・ラ・ソルグ観光局

13 Place Ferdinand Buisson

+33 (0)4 90 38 04 78

FONTAINE DE VAUCLUSE

フォンテーヌ・ド・ヴォークリューズ観光局

4 Route de Cavaillon

LE THOR

ル・トール観光局

41 Place du Marché

✉ www.islesurlasorguetourisme.com